

全ては選手のために。大会を支える4,400人以上のボランティア。

受付をはじめ、給水・スポンジ・給食、コース整理員、手荷物置き場などさまざまな場所でボランティアスタッフが活躍しています。その数は4,400人以上。ランナー全員がフィニッシュできることを願いながら、活動しています。ボランティアスタッフの思いはひとつ。全てはランナーのために。

活動名	活動場所	活動内容	団体名(人数)
受付	大通公園西8丁目	アスリートピブスや参加記念Tシャツの配布	一般ボランティア(200)、東海大学 札幌キャンパス(41)
通訳		英語通訳	一般ボランティア(1)
給水 給食 スポンジ	大通公園	ランナーへの飲料、給食 スポンジなどの提供	一般ボランティア(73)
	5.4km地点		南平岸地区町内会連合会(20)、平岸地区町内会連合会(46)、札幌市ママさんソフトボール協会(60)、三菱商事(18)、東京海上日動火災保険北海道エリアサービス部(73)、チームじゃがポックル会(44)、チーム齋藤(5)、市立札幌平岸高校(5)、水の受け渡し業者(5)、たべっ子どうぶつ(5)、ヒゲマラソン部(5)、ウクレレやるレレ(5)、いちごタルト(5)、KSDP(6)、チームJ(5)、居酒屋Babar(7)、2019K(5)、R人尽心R(7)、北海道科学大学高校(101)
	7.3km地点		創造学園燦燦会(13)、創造学園41期会(20)、創造学園42期会(21)、スマイル40(14)、札幌スポーツ&メディカル専門学校(131)、札幌医療秘書福祉専門学校(30)、ベルシステム24(31)
	10.8km地点		札幌市地域スポーツリーダー協会(45)、吉田学園公務員法科専門学校(83)、さつきた(8)、市立札幌大通高校(9)、札幌医療リハビリ専門学校(4)、札幌山の手高校(70)、近畿日本ツーリスト 北日本支社(57)
	15.5km地点		NPO法人 北海道歩くスキー協会(40)、新川第3町内会(28)、新川第4町内会(30)、新川第5町内会(30)、新川第6町内会(21)、札幌創成高校(126)
	17.5km地点		新川中央第7町内会(30)、新川第8町内会(26)、新川東町内会(45)、札幌市スポーツ推進委員(30)
	20.2km地点		新川町内会(200)、札幌龍谷学園高校(80)、北海道ハイテクノロジー専門学校(15)、隊友会 千歳地方隊友会 千歳支部(11)、隊友会 札幌地方隊友会(10)、隊友会 帯広地方隊友会 東支部(2)、北嶺中等高等学校(50)、経済界協議会同窓会(30)
	22.5km地点		北海道婦人スポーツ連盟(70)、前田緑苑町内会(33)、北海道科学大学(46)
	ランナーサポートエリア (前田森林公園)		大日本印刷(11)
	25.2km地点		手稲鉄北連合町内会連絡協議会(193)、北土建設(8)、札幌クラブ(5)、学校開放新和会OB会(11)、NTTネクシア(14)、大和ハウス工業 北海道支社(6)、札幌観光プライダル・製菓専門学校(46)、北翔大学(41)
	27.5km地点		北海道文教大学(29)、札幌新陽高校(21)、北海道札幌あすかぜ高校(19)、前田連合町内会(90)
	30.2km地点		新川西札幌町内会(20)、札幌新陵中学校PTAO有志の会(27)、北海道ママさんバレーボール連盟(43)、メディカルシステムネットワーク(9)、札幌スケート連盟スピード委員会(4)、北海道銀行(5)、鉄建建設 札幌支店(7)、北海道江別高校 ボランティア部(17)、札幌真栄高校(5)、北海道教育大学札幌校(16)、クリエイティブ・コンサルタント(6)、札幌日本大学高校ボランティア部(10)、アミノアップ(6)、新川公園町内会(7)、北海道石狩南高校(39)、日本航空大学校北海道(70)
	31.3km地点		開成中等7期(19)、よつ葉乳業(3)、北海道ロードメンテナンス(5)、北海道スポーツ専門学校(15)、北星学園ボランティアコバン部(41)、さっぽろグローバルスポーツコミッション(25)
	33km地点		新川みどり町内会(60)、北海道(85)
	35.2km地点		さっぽろグローバルスポーツコミッション(105)、新琴似一番通町内会(75)
	38km地点		つうけん(35)、一般ボランティア(25)、さっぽろグローバルスポーツコミッション(33)、札幌大学(20)、札幌北斗高校(54)、北海道札幌工業高校 陸上部(18)、札幌光星高校(5)
	40.3km地点		東海大学 札幌キャンパス(41)、一般ボランティア(154)、大原法律公務員専門学校(29)、札幌大谷高校(16)、藤女子高校(ボランティア委員)(11)
フィニッシュ地点	ボーイスカウト北海道連盟札幌地区委員会(60)、ガールスカウト札幌地区協議会(9)		
コース 整理員	第1エリア	走路確保	札幌走ろう会(15)、豊水地区連合町内会(16)
	第1エリア、第2エリア		西岡ボランティア会(20)
	第3エリア、第4エリア		中の島地区町内会連合会(45)
	第4エリア、第5エリア		平岸地区町内会連合会(30)
	第5エリア、第6エリア		豊平地区町内会連合会(46)
	第6エリア、第7エリア		中央区東地区連合町内会(12)
	第8エリア、第9エリア		佑和会(15)
	第9エリア、第10エリア、 第11エリア		チロルスキー山岳会(44)
	第12エリア		札幌藻岩高校ユネスコ・ボランティア部(22)
	第12エリア、第13エリア		一般ボランティア(44)
	第14エリア、第15エリア		遠軽信用金庫(40)
	第20エリア		創造サンキュー会(22)
第21エリア	札幌手稲福祉老人センター(15)		
第22エリア	鹿島朝日高校札幌キャンパス(4)、一般ボランティア(10)、さっぽろグローバルスポーツコミッション(11)		
シャワー	フィニッシュ地点	ランナーにシャワーをかける	ボーイスカウト北海道連盟札幌地区委員会(5)
アイシング		ランナーに氷を配布	ボーイスカウト北海道連盟札幌地区委員会(25)
フィニッシャー タオル、完走メダル		フィニッシャータオル、 完走メダルの補充	日本航空大学校北海道(10)
手荷物置き場案内	大通公園	ランナーが手荷物を置く際の確認	日本航空大学校北海道(110)

過酷な夏のレースでの万が一に備えた充実の救護体制。 医師をはじめ、総勢500人を超える救護スタッフが競技者の安全を確保します。

例年、気温が25～30度まで上昇する厳しい気象条件の中で行われており、熱中症などで搬送されるランナーが少なくありません。こうした万が一に備え、医師、看護師、理学療法士、救急救命士などによる救護班を編成し、各所に救護所を設置し対応にあたります。

◎フィニッシュ地点をはじめ、全7カ所に救護所を設置しています。

■フィニッシュ救護テント

北光記念クリニック、高木内科医院、東苗穂病院、仁楡会札幌病院、北海道根室保健所、松田整形外科記念病院、NTT東日本札幌病院、北海道大野記念病院、愛育病院、西岡第一病院、函館整形外科クリニック、羊ヶ丘病院、新札幌整形外科病院、麻生整形外科病院、八木整形外科病院、新札幌ながい整形外科、札幌琴似整形外科病院、札幌清田整形外科病院、小樽病院、町立長沼病院、旭川医科大学病院、白石整形外科、ジュンスポーツクラブ、Do-Clinic整形・運動器リハビリテーション、フィジオウェルネス株式会社、砂川市立病院、同樹会苫小牧病院、札幌溪仁会リハビリテーション病院、山下整形外科クリニック、札幌医学技術福祉歯科専門学校、石狩幸徳会病院、我汝会さっぽろ病院、やまうち整形外科、夢あかり、札幌つきさむ中央整形外科、ほか札幌市内病院看護師

■フィニッシュ救護所、5km救護所(41.5km救護所)、15km救護テント、20km救護テント(車いすハーフフィニッシュ救護テント)、25km救護テント(前田森林公園)、35km救護所(新琴似救護所)、40km救護テント

札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院、旭川赤十字病院、帯広厚生病院、北見赤十字病院、市立釧路総合病院、市立札幌病院、市立函館病院、手稲溪仁会病院、道立羽幌病院、北海道科学大学、北海道大野記念病院、北海道大学病院、小樽市立病院、SOMPOケア札幌星置訪問看護、勤医協中央病院、道内消防本部

■救護テント・救護所補助員、担架班

旭川医科大学、札幌医科大学、日本赤十字北海道看護大学、北海道医療大学、北海道ハイテクノロジー専門学校、専門学校北海道リハビリテーション大学校、札幌医学技術福祉歯科専門学校、札幌リハビリテーション専門学校、吉田学園医療歯科専門学校救急救命学科、北海道大学、北海道千歳リハビリテーション大学

◎看護師が同乗した救護車がレースに随行しています。

協力：札幌民間救急サービス

◎コース上の救護テントには看護師が同乗した救護車が待機、競技者の救護のために出動します。

協力：札幌民間救急サービス

◎メディカルバイクチーム（MBT）がレースに随行し、コースを巡回しています。

協力：道内消防隊員、札幌医科大学附属病院、恵み野病院、手稲溪仁会病院、北海道ハイテクノロジー専門学校

◎コース上とフィニッシュ地点に85名のAEDスタッフが待機しています。

コース上にAEDを持った北海道ハイテクノロジー専門学校救急救命士学科の生徒が待機しています。

◎救護サポートランナー

競技者として大会に参加し、必要に応じて救護活動にもあたる、通称「救護サポートランナー」がみなさんのそばにいます。